

(2) 道の駅

「道の駅」の登録数

年度別

都道府県別

平成 5 年度	122(※1)
平成 6 年度	181
平成 7 年度	233
平成 8 年度	313
平成 9 年度	390
平成 10 年度	470
平成 11 年度	551
平成 12 年度	610
平成 13 年度	649
平成 14 年度	701
平成 15 年度	742
平成 16 年度	785
平成 17 年度	830
平成 18 年度	858
平成 19 年度	868
平成 20 年度	900
平成 21 年度	936
平成 22 年度	970
平成 23 年度	987
平成 24 年度	1,005
平成 25 年度	1,014
平成 26 年度	1,040
平成 27 年度	1,079
平成 28 年度	1,107
平成 29 年度	1,117
平成 30 年度	1,154
令和元年度	1,173
令和2年度	1,187
令和 3 年度	1,194
令和4年度	1,198
令和5年度	1,204

北海道	127
青森県	28
岩手県	36
宮城県	18
秋田県	33
山形県	21
福島県	35
茨城県	16
栃木県	25
群馬県	33
埼玉県	20
千葉県	29
東京都	1
神奈川県	4
新潟県	42
富山県	16
石川県	26
福井県	21
山梨県	21
長野県	53
岐阜県	56
静岡県	25
愛知県	18
三重県	18
滋賀県	20
京都府	18
大阪府	10
兵庫県	35
奈良県	16
和歌山県	36
鳥取県	17
島根県	29
岡山県	17
広島県	21
山口県	24
徳島県	18
香川県	18
愛媛県	29
高知県	25
福岡県	17
佐賀県	10
長崎県	11
熊本県	35
大分県	25
宮崎県	19
鹿児島県	22
沖縄県	10
合計	1,198

※1 平成5年度の第1回登録数は103 駅

※2 令和5年度の登録数は令和5年2月28日時点

(経緯(参考))

○H3.10月～H4.4月 「道の駅」を実験
(山口、岐阜、栃木県)

○H5.1.18 「道の駅」の提言
(「道の駅」懇談会会長:越正毅教授)

○H5.2.23 「道の駅」の整備についての要綱策定

○H14.3.29「道の駅」の整備についての要綱一部変更

○H30.11.19「道の駅」の整備についての要綱一部変更

全国モデル「道の駅」 全6箇所(2014年(平成26年)度選定)

(地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型)

主な機能	都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
観光総合	群馬県	かわばむら 川場村	H8	かわばでんえん 川場田園プラザ	「農業プラス観光」で人口約 3,700 人の村に年間約 120 万人が来訪。リピート率は7割。
	栃木県	もてぎまち 茂木町	H8	もてぎ	真岡鉄道の SL やサーキットなど地域の魅力へのアクセスポイントとしてのゲートウェイ機能。
	千葉県	みなみぼうそうし 南房総市	H5	とみうら	ビワ狩り体験企画など、地域の観光資源をパッケージ化し、都市部の旅行会社へ販売。観光バス 3,000 台誘致。

(地域の元気を創る地域センター型)

主な機能	都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
産業振興	山口県	はぎし 萩市	H13	はぎ 萩しーまーと	隣接する漁港から新鮮な海産物が直接店頭へ並び、地産地消にも貢献。地元加工業者と高付加価値商品を開発し、地域に貢献。
	愛媛県	うちこちょう 内子町	H8	うちこ 内子フレッシュパーク からり	生産者自らが運営に携わり、特産品を活かした加工食品の開発販売等、約 60 名の雇用を創出。
防災	岩手県	とおのし 遠野市	H10	とおのかぜ 遠野風の丘	東日本大震災時は、後方支援拠点として機能。広域防災拠点として高度な防災機能を分担。

重点「道の駅」全 103 箇所

2014 年(平成 26 年)度選定:35 箇所

	都道府県	市町村	駅名	主な特徴
1	北海道	ニセコ町	ニセコビュープラザ	国際リゾート地”ニセコ”におけるインバウンド観光拠点
2	北海道	石狩市	石狩「あいろーど厚田」	国道 231 号の「情報発信機能」として地域へ呼び込むゲートウェイ機能
3	北海道	当別町	北欧の風 道の駅とうべつ	地域資源である農産物を農商工が連携し 6 次産業化
4	岩手県	陸前高田市	高田松原	震災の実情と教訓を国内・海外に向けて発信
5	宮城県	大崎市	あ・ら・伊達な道の駅	地域資源(伊達政宗の史実等)を活用した観光拠点
6	秋田県	にかほ市	象潟	環鳥海地域のゲートウェイとしてワンストップで総合観光情報発信
7	山形県	米沢市	米沢	山形県広域観光のゲートウェイとなる観光総合窓口設置
8	福島県	猪苗代町	猪苗代	火山や豪雪等のあらゆる災害に対応した総合防災拠点
9	茨城県	常陸太田市	ひたちおおた	体験園場施設としてトマトハウス整備や地場産品を活用し体験・交流
10	栃木県	那須町	那須高原友愛の森	国際観光地として外国人観光客対応に向けた機能強化
11	千葉県	神崎町	発酵の里こうざき	町の資産である発酵文化を「道の駅」を核として世界に発信
12	千葉県	睦沢町	道の駅・つどいの郷	「スマートウェルネスタウン」の中核拠点
13	新潟県	十日町市	瀬替えの郷せんだ	夏と冬でせんだ元気ハウスを活用した農業実習、除雪ボランティア
14	新潟県	妙高市	あらい	豪雪地帯にあって、環境・観光にも配慮した新たな防災拠点
15	福井県	大野市	(仮称) 結の故郷	「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」の核とし、地域資源情報発信
16	長野県	青木村	あおき	「体験学習の村」の体験交流拠点機能の拡充
17	長野県	飯島町	田切の里	「道の駅」を地域福祉の拠点として、宅配サービスなど実施
18	岐阜県	大野町	パレットピアおおの	特産品のバラ苗や柿を中心とした産業振興拠点
19	静岡県	伊豆地域	伊豆道の駅ネットワーク ・伊東マリンタウン ・開国下田みなど ・天城越え ・伊豆のへそ ・花の三聖苑伊豆松崎 ・下賀茂温泉湯の花 ・くるら戸田 ・伊豆ゲートウェイ函南	伊豆半島内の 8 駅をネットワーク化し、地域の多様な観光情報発信
20	愛知県	豊田市	どんぐりの里いなぶ	地域の体験観光の総合窓口機能集約や、地方移住に係わる情報提供
21	兵庫県	神戸市	神戸フルーツ・フラワーパーク 大沢	神戸ブランドや神戸観光の拠点として、国内・海外に発信

	都道府県	市町村	駅名	主な特徴
22	兵庫県	あさごし 朝来市	たじま 但馬のまほろば	天空の城「竹田城」等を活かし、産業・雇用等の機能強化
23	和歌山県	たいじちよう 太地町	たいじ	「くじらの町」太地のゲートウェイとして歴史・文化の情報発信
24	和歌山県	すさみちよう すさみ町	すさみ	南海トラフ巨大地震時の避難場所等の広域防災拠点として整備
25	鳥取県	とっとりし 鳥取市	しんわ さとしろ 神話の里白うさぎ	神話「因幡の白うさぎ」など歴史・自然の観光を展開
26	鳥取県	にちなんちよう 日南町	ひのがわ さと にちなん日野川の郷	まちを創生するための拠点（コンパクト・ヴィレッジ）を形成
27	島根県	はまだし 浜田市	ゆうひパーク はまだ 浜田	女性・若者の交流拠点や地域産品のオリジナルレシピを発信
28	広島県	おのみちし 尾道市	クロスロードみつぎ	地元高校と連携し、インターンシップ実施。地元での就労を促す
29	山口県	しものせきし 下関市	ほたるかいどうにし 螢街道西ノ市	街道の歴史・文化を伝える活動や「ほたる舟ツアー」を実施
30	愛媛県	いまばりし 今治市	かいどうしゅうへん みち えき しまなみ海道周辺「道の駅」 ・今治湯ノ浦温泉 ・伯方S・Cパーク ・今治市多々羅しまなみ公園 ・しまなみの駅御島 ・よしうみいきいき館	サイクリストを国内外の観光客を地域の周遊観光へ呼び込む
31	高知県	ゆすはらちよう 梶原町	ゆすはら	「ゆすはらまるごとクリニック」構想の拠点施設とし健康増進
32	高知県	すさきし 須崎市	かわうその里 すさき	津波避難タワー等を新設し地域の防災拠点として防災機能強化
33	福岡県	うきはし うきは市	うきは	高齢者や女性がいきいきと働き・暮らすための拠点とした整備
34	佐賀県	かしまし 鹿島市	かしま 鹿島	干潟環境教室を「道の駅」を中心に実施し、観光交流人口拡大
35	熊本県	おぐにまち 小国町	おぐに 小国	移住定住対策や観光総合機能等、さらなる機能強化を図る

2015年(平成27年)度選定:38箇所

	都道府県	市町村	駅名	主な特徴
1	北海道	しほろちょう 士幌町	ピア21しほろ	長距離バス、路線バス、地域コミュニティーバスの結節点として機能
2	北海道	あつさぶちょう 厚沢部町	あつさぶ	日本版 CCRC との連携により高齢者移住や、新規就農による移住・定住促進に向けた情報発信や総合案内
3	青森県	よこはままち 横浜町	よこはま	周辺施設を活用した、地方創生拠点を形成する自動車専用道路 IC 直結の道の駅
4	岩手県	みやこし 宮古市	たろう	水産物の直売や6次産業化による漁業復興・再生の拠点
5	秋田県	のしろし 能代市	ふたついで	世界遺産「白神山地」の玄関口として、多言語化に対応したインバウンド観光案内所(スタッフ・ガイド)を配置
6	福島県	いいたてむら 飯舘村	いいたてむら 道の駅 までい館	原発災害からの帰村時の日常生活を支える、役場や医療機関等と連携した復興拠点
7	茨城県	ひたちおおみや 常陸大宮市	ひたちおおみや 常陸大宮	全国でも生産量の少ない洋野菜の地産地消及びブランド化の推進
8	群馬県	しもにたまち 下仁田町	しもにた	買い物困難者への宅配サービス提供、子育てサポート、公共交通バスの結節点化などによる「小さな拠点」の形成
9	群馬県	うえのむら 上野村	うえの 上野	移住窓口を設置するなど道の駅を中心に移住・雇用対策を展開
10	千葉県	あさひし 旭市	きらり 季楽里あさひ	基幹病院等と連携し「医食農同源」をテーマに、豊富な地元農水産物を活用した地産地消の推進
11	新潟県	たがみまち 田上町	たがみ	道の駅周辺に公共サービスと生活サービス機能を集約。道の駅と集落地域等を結ぶ公共交通・宅配サービスの導入。
12	富山県	くろべし 黒部市	(仮称)くろべ	豊かな農産物と希少な海産物を活用した6次産業化の拠点
13	福井県	おばまし 小浜市	わかさ 若狭おばま	交通結節点機能強化(バスターミナル機能拡張、パーク&ライド)による観光促進
14	福井県	かつやまし 勝山市	きょうりゅうけいこく 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク	県立恐竜博物館等を活かした観光・交流拠点。コミュニティーバスによる周遊観光
15	山梨県	つるし 都留市	つる	地域伝統野菜の加工品開発による6次産業化
16	長野県	さくし 佐久市	ヘルシーテラスさくみなみ 佐久南	健康長寿をテーマに、健康長寿野菜や健康長寿食の提供による地産地消の推進
17	長野県	あなんちょう 阿南町	しんしゅうにいのぜんごくだいら 信州新野千石平	高齢者への宅配サービスを通じた買物支援や安否確認、町民バスと連携した中山間地の生活支援
18	岐阜県	ぐじょうし 郡上市	めいほう 明宝	NPO と連携した日用品の配達及び生活支援サービスによる高齢者支援
19	岐阜県	げろし 下呂市	ひだかなやま もり さとおんせん 飛騨金山ぬく森の里温泉	病院・老人福祉施設等の地域福祉機能等の集約、コミュニティーバスや高齢者宅配サービス等による小さな拠点機能の向上
20	三重県	みなまちょう 御浜町	しちりみはま パーク七里御浜	柑橘加工商品の開発と6次産業化の推進
21	愛知県	とよはしし 豊橋市	とよはし	南海トラフ地震等に備えた防災活動拠点
22	三重県	おおだいちょう 大台町	おくいせ 奥伊勢おおだい	JR、高速バス、路線バスの結節点における行政、文化、観光、医療サービス拠点の形成
23	滋賀県	ながはまし 長浜市	あざいさんしまい サト 浅井三姉妹の郷	起業や商品開発をサポートする「チャレンジショップ」の設置による地産地消型産業の振興

	都道府県	市町村	駅名	主な特徴
24	滋賀県	りゅうおうちょう 竜王町	りゅうおう さと 竜王かがみの里 ・アグリパーク 竜王	土産土法の取組を2駅（集客力のある駅と農業生産力のある駅）連携で推進
25	京都府	みなみやましるむら 南山城村	ちや きょうと むら お茶の京都 みなみやましる村	「村で暮らし続けるための仕掛け作り」として、特産品である南山城茶を活用した商品開発
26	京都府	きょうたんごし 京丹後市	たんごおうこくしよく 丹後王国食のみやこ	丹後地域の観光資源、地域食材等を紹介する観光等総合窓口
27	大阪府	かなんちょう 河南町	かなん	なにわの伝統野菜を使った商品を開発・提供するための施設整備
28	奈良県	かつらぎし 葛城市	かつらぎ	高齢者の交通手段確保のためのコミュニティバス運行、ICTを活用した買い物支援
29	鳥取県	ことうらちょう 琴浦町	こと うら 琴の浦	隣接する既存の道の駅との機能分担及び連携し、地元特産品を活用した6次産業化など地産地消の推進
30	広島県 島根県	みよしし 三次市 うなんし 雲南市 いなんちょう 飯南町	こくどう ごうえんせん みち えき 国道54号沿線「道の駅」 ・ゆめランド布野 ・赤来高原 ・頓原 ・掛合の里	自動車道の開通により交通量が減少した国道54号沿線の4つの道の駅の相互連携による、地域の暮らしを持続的に支える環境構築
31	山口県	しゅうなんし 周南市	しゅうなん ソレーネ周南	高齢者の相談窓口の設置、バス停の整備による、地域住民のサポート体制の構築
32	徳島県	みまし 美馬市	さと みまの里	地元農林水産物の集出荷システムを活用した産地直売所の設置や地域野菜を活用した6次産業化推進
33	香川県	みとよし 三豊市	さと たからだの里 さいた	道の駅の観光ポテンシャルを活かした移住促進（移住コンシェルジュによる相談窓口設置、移住体験ツアー開催等）
34	福岡県	やめし 八女市	たちばな	地域福祉の向上と地域住民の安全安心な地域コミュニティ再生による行政サテライト機能の充実
35	長崎県	ひがしそのぎちよう 東彼杵町	そのぎ しよう 彼杵の荘	障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と農産物の集荷・販売システムの確立
36	熊本県	あそし 阿蘇市	あそ 阿蘇	消防署、医療センター等と連携した「小さな拠点」の形成。空き家バンク制度を活用し、移住定住等を促進
37	宮崎県	のべおかし 延岡市	きたがわ 北川はゆま	コミュニティバスの乗入れや高速バスストップの設置、パーク&ライド機能を備えた乗継拠点
38	沖縄	ぎのざそん 宜野座村	ぎのざ	宜野座エコ農産物や人材資源等を活用し「食育・地産地消活動」の促進

2018年(平成30年)度選定:15箇所

	都道府県	市町村	駅名	主な特徴
1	北海道	るもいし 留萌市	るもい	高速道路の終点インターチェンジに近接する立地環境を生かし、既存の公共交通機能集約化
2	北海道	てしかがちょう 弟子屈町	ましゅうおんせん 摩周温泉	周辺自治体やシーニックバイウェイ（日本風景街道）とも連携し、広域的な観光情報の収集・発信
3	青森県	しちのへまち 七戸町	しちのへ	地域DMOと連携した観光商品の開発・販売、旅行事業者と連携
4	茨城県	いたこし 潮来市	いたこ	DMOと連携しスポーツツーリズムの取組を通じ、道の駅を拠点とした周辺市への観光の周遊化を図り、インバウンド観光の効果を広域的に活性化させる
5	千葉県	かしわし 柏市	しょうなん	都市部と農村部を結ぶエントランスとして再整備し、集客・販売・地域情報の発信の拠点とする。
6	新潟県	いといがわし 糸魚川市	のう 能生	地域の2つの日本風景街道との連携により、次世代観光拠点の形成やサイクリング拠点化を推進
7	愛知県	しっしんし 日進市	にっしん	広い駐車場を備えた道の駅に子育て応援施設（屋内）を設置し、相談等を実施することで、増加する子育て世代のニーズ対応、孤立化の防止や情報発信能力の向上を図る
8	兵庫県	やぶし 養父市	たじまのくら ようか但馬蔵	北近畿・山陰エリアの訪日インバウンドに向けたワンストップ窓口機能を設けることで、訪日インバウンドを道の駅から各地へ送客する仕組みを構築するとともに、子育て支援機能を充実させる
9	奈良県	てんりし 天理市	ならけんこくさいげいじゅつむら 奈良県国際芸術村（仮称）	文化・芸術振興の取り組み加え、観光・産業振興、まちの賑わいづくりなどの政策間連携による地域活性化
10	広島県	あきおおたちょう 安芸太田町	らいむ 来夢とごうち	DMO機能を持つ「地域商社」が道の駅を運営し、商品（モノ・コト）開発、プロモーション、観光客の受入を地域の事業者等との連携により実施し、「稼ぐ観光まちづくり」を推進する
11	徳島県	みよしし 三好市	おおほけ 大歩危	地域DRM「そらの郷」及び、四国風景街道「三好市秘境ロマン街道推進協議会」と連携し、観光施設の情報を一体的に発信、地域全体のゲートウェイとして、周遊・滞在型観光を推進する。
12	大分県	ゆふし 由布市	ゆふいん	道の駅・大分道守会議・日本風景街道が連携した「三つの輪」と協働し、交流機会の向上を図る
13	熊本県	なごみまち 和水町	きくすい	広域からの玄関口として、周辺観光地と連携して観光情報発信や観光ツアー斡旋等の広域的な観光振興を先導
14	鹿児島県	あまみし 奄美市	あまみおおしますみよう 奄美大島住用	世界自然遺産（登録申請中）と連携し、地域資源の特性を十分活かしてインバウンド対応を強化する先駆的な取組
15	沖縄県	なごし 名護市	きよだ 許田	大学や周辺道の駅と連携した観光情報発信や商品開発など、観光振興の実現に向けた先駆的な企画 津波災害に備えた高台避難所を整備するなど、災害時にも対応した優れた企画

2019年(令和元年)度選定:15箇所

	都道府県	市町村	駅名	主な特徴
1	北海道	みなみふらのちょう 南富良野町	みなみ 南ふらの	体験型アウトドア観光の拠点としてリニューアル。地元と来訪者との交流を促進する機能も整備
2	宮城県	おながわちょう 女川町	(仮称) おながわ	公民の連携により、震災復興・地域観光・地域交流の一体的なサービス拠点の創出
3	福島県	ふくしまし 福島市	(仮称) ふくしま	日本風景街道やフルーツラインを活用したサークルツーリズム拠点の創出と震災等により屋外で遊べない子供向けの遊び場整備
4	茨城県	かさまし 笠間市	(仮称) かさま 笠間	多様な交通手段との連携による、交通結節点機能の強化 地元大学と連携した子育て支援と人材育成の実施
5	千葉県	みなみぼうそうし 南房総市	みなみぼうそうしみち えき 南房総市道の駅 ・とみうら枇杷倶楽部 ・おおつの里花倶楽部 ・富楽里とみやま ・三芳村部の里 ・和田浦 WA・0! ・ローズマリー公園 ・白浜野島崎 ・ちくら潮風王国	「道の駅」運営主体の統合と市役所組織の再編を実施。8つの道の駅が連携して施設リニューアルやツーリズムの充実等を実施
6	新潟県	さんじょうし 三条市	ていえん さと ほない 庭園の郷 保内	地元産業を活用した子育て世代支援事業の強化
7	愛知県	たはらし 田原市	あつみはんとうなのはなろうまんかいどう 渥美半島菜の花浪漫街道 みち えき 「道の駅」ネットワーク ・田原めつくんはうす ・あかばねロコステーション ・伊良湖クリスタルポルト	日本風景街道で繋がる道の駅が連携して「ナショナルサイクルリスト」の受け入れ拠点としてリニューアル
8	福井県	みはまちょう 美浜町	みはま 美浜 (仮称)	鉄道駅に近接する強みを活かした交通結節点機能の強化 (コミュニティバスの運行ルートの再編やレンタサイクル等の設置など)、キッズルームを整備し、一時預かり・育児講習会等による子育て支援機能の充実
9	滋賀県	ひがしおうみし 東近江市	あいとうマーガレットステーション	道の駅を核として、農業体験メニューや、滞在機能の充実による農業と観光と地域資源が連動した拠点 (ガーデンビレッジ) へのリニューアル
10	兵庫県	たんばし 丹波市	たんば おばあちゃんの さと 丹波おばあちゃんの里	高速 IC に近接する立地を活かし、休憩機能の向上や、宿泊、情報発信機能の強化による周遊観光拠点の創出
11	兵庫県	すもとし 洲本市	たかた や かへえこうえん 高田屋嘉兵衛公園 (仮称)	情報発信、宿泊、サイクリスト受入環境の整備によるゲートウェイ機能の強化
12	鳥取県	ほくいちょう 北栄町	ほうじょうこうえん 北条公園	併設するオートキャンプ場との連携を図った、農産物や交流・多目的ゾーンにリニューアル
13	徳島県	いたのちょう 板野町	いたの (仮称)	2つの高速 IC に近接する立地を活かし、観光 DMO との連携による観光モデルルートの構築による周遊観光拠点の創出
14	宮崎県	くしまし 串間市	くしま (仮称)	風景街道、道守、地域団体との連携によりサイクリング拠点を創出
15	宮崎県	みやこのじょうし 都城 市	みやこのじょう 都城	地場産業 (畜産、林業等) と連携した子育て支援施設等へのリニューアル 地元大学 (園芸学部) と連携した、駅内の花壇・植栽を実施

2016年(平成28年)度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
埼玉県	おがのまち 小鹿野町	H11	りょうかみおんせんやくし 両神温泉薬師の湯	町が「道の駅」を地域福祉の拠点として位置付け、高齢者の生きがい作りの取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
岐阜県	たかやまし 高山市	H14	さくら さとしょうかわ 桜の郷荘川	まちづくり協議会への積極的な参画・連携により、住民ニーズを踏まえた健康増進の取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
京都府	なんたんし 南丹市	H17	みやま ひろば 美山ふれあい広場	住民自治組織が中心となり、行政サービスや福祉サービス等の機能・施設を連携させ、総合的な拠点を形成。
岡山県	にいみし 新見市	H9	こい くぼ 鯉が窪	計画から運営まで全てで住民主体を掲げ、行政窓口や診療所等を集約してワンストップサービスを実現した「小さな拠点」を形成。
香川県	しょうどしま ちょう 小豆島町	H8	しょうどしま こうえん 小豆島オリーブ公園	「道の駅」を福祉施策の中核と位置付け、オリーブ販売等による収益を福祉関連施設の運営に還元することで住民サービスを実現。
宮崎県	にちなんし 日南市	H11	さかたに 酒谷	「道の駅」の収益を自治組織に還元し、住民主体で「道の駅」を地域の自治・交流活動の拠点として育て、「小さな自治」を形成。

2017年(平成29年)度 地域交通拠点部門 モデル「道の駅」

都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
北海道	あしよろちょう 足寄町	H16	あしよろ ^{ぎんが} 銀河ホール 21	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両と一般車両の駐車スペースを分離した空間設計 ・路線バスの運行時間に合わせて、待合所の営業時間を延長
宮城県	いしのまきし 石巻市	H16	じょうぼん ^{さと} 上品の郷	<ul style="list-style-type: none"> ・民間バス事業者との連携により、バス停を「道の駅」の待合スペース前に移設 ・「道の駅」を市の総合交通戦略に位置づけ ・東日本大震災後に、仮設住宅路線を新設
石川県	わじまし 輪島市	H15	わじま 輪島	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の無人自動走行も見据えた電動カーットの試験走行など先進的な取組を実施 ・隣接する文化会館との渡り廊下を整備し、利用者の利便性を向上
奈良県	くろたきむら 黒滝村	H5	よしの ^じ 吉野路 ^{くろたき} 黒滝	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスと路線バスの乗継利用者に、路線バスの乗車券を無料配布 ・路線バスとコミュニティバス相互の運行状況に合わせて時間調整を実施
広島県	きたひろしまちょう 北広島町	H16	まい ^{ちよだ} 舞ロード IC千代田	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バス停への乗継経路上にエレベーターや屋根を設置し、乗継利便性を向上 ・民間バス事業者との連携により、高速バスのチケット販売やICカードチャージ機の設置を実施
愛媛県	まつのまち 松野町	H10	にじ ^{もりこうえん} 虹の森公園まつの	<ul style="list-style-type: none"> ・民間バス事業者との連携により、路線バスの終点を「道の駅」まで延伸 ・路線バスとコミュニティバス相互の運行状況に合わせて時間調整を実施
福岡県	むなかたし 宗像市	H20	むなかた	<ul style="list-style-type: none"> ・民間バス事業者との連携により、路線バスのルートを「道の駅」経由に変更 ・「道の駅」から天神行き特急バスを新設

2021年(令和3年)度「防災道の駅」選定:39箇所

都道府県	市町村	駅名
北海道	天塩町	てしお
北海道	ニセコ町	ニセコビュープラザ
北海道	猿払村	さるふつ公園
北海道	厚岸町	厚岸グルメパーク
青森県	七戸町	しちのへ
岩手県	遠野市	遠野風の丘
秋田県	大仙市	協和
山形県	飯豊町	いいで
福島県	猪苗代町	猪苗代
茨城県	大子町	奥久慈だいご
栃木県	壬生町	みぶ
群馬県	川場村	川場田園プラザ
千葉県	八千代市	やちよ
長野県	塩尻市	小坂田公園
山梨県	富士川町	富士川
新潟県	妙高市	あらい
石川県	輪島市	のと里山空港
岐阜県	大野町	パレットピアおおの
静岡県	富士宮市	朝霧高原
愛知県	豊橋市	とよはし
三重県	志摩市	伊勢志摩
福井県	大野市	越前おおの荒島の郷

都道府県	市町村	駅名
滋賀県	甲良町	せせらぎの里こうら
兵庫県	朝来市	但馬のまほろば
奈良県	奈良市	(仮称)中町
和歌山県	すさみ町	すさみ
岡山県	玉野市	みやま公園
広島県	東広島市	西条のん太の酒蔵
山口県	周南市	ソレーネ周南
徳島県	板野町	いたの
香川県	綾川町	滝宮
愛媛県	久万高原町	天空の郷さんさん
高知県	四万十町	あぐり窪川
福岡県	うきは市	うきは
長崎県	佐世保市	させぼつくす 99
熊本県	芦北町	たのうら
大分県	由布市	ゆふいん
宮崎県	都城市	都城
鹿児島県	垂水市	たるみずはまびら